

第 72 回牛鬼会議 会議録

■日時：令和 4 年 9 月 16 日（金） 18：00～20：00

■場所：宇和島市総合福祉センター 3階 ハイブリット方式（会場参加・オンライン参加）

■参加者：16 名

□会場

中島農園（中島利昌）、地域支え合いセンター（佐藤猛）、宇和島市社会福祉協議会（奥野佳代）
愛媛新聞社南予支社宇和島編集部（阪和舞）宇和島市市民課（東宏和）、生涯学習センターパフィオ
（廣瀬忍）、宇和島 NPO センター（谷本友子、山口勇喜、岡田雅信、西岡理奈、林昭子）

□オンライン

吉田町手をつなぐ育成会（山本和美）、一般社団法人宇和島 SDGs 社会教育事業団（霜村一郎）、Clean
the coast（西本和弘）、えひめグローバルネットワーク（竹内よし子）、特定非営利活動法人 U. grandma
Japan（折原理恵）宇和島市 NPO 団体 If（松崎尚美）、宇和島市役所危機管理課（富永達也）、愛媛大
学（尾崎真由）

■内容

1. 関係団体からの活動報告と予定（別紙活動記録参考）

（1）宇和島市生涯学習センター（パフィオ宇和島）

①8/11（木）ホワイエ海洋ごみ展示他活動紹介

（2）地域支え合いセンター

①重層的支援体制整備事業について

（3）宇和島 NPO センター

①新型コロナウイルス感染症予防対策について

②第 1 回 NPO 交流会 9/8（木）

③砂防ダム見学会（立間地区 白井谷を奥白井谷）9/11（日）→9/25（日）

④体験型防災プログラム うわじま防災 BOX×子ども食堂（きさいや広場）9/17（土）

（4）その他

2. その他（牛鬼会議参加者へのお知らせ、協力依頼など）

※別紙、そのほか（イベント等の開催状況）ボランティア等募集案内など

1. 関係団体からの活動報告と予定

◆宇和島市生涯学習センター（パフィオ）（廣瀬）

①8/11（木）ホワイエ海洋ゴミ展示ほか活動紹介

（生涯学習センター（廣瀬））

らんま先生の実験ショーと一緒に連携して海ゴミの展示を行い、アンケート結果を市に共有した。今回の展示のような物を見る機会が今まで無かった、子どもの反応が良かった、という意見を頂いた。影響力があったと思う。

7/3 に大本敬久氏に文化講演会で「過去の災害い学ばー南予地方の地震・津波・水害史」を行い年配の方、親子連れの方も来られて、自分達で何かをしなないといけないという意見も頂いた。

今後は地域自治体と連携して防災に関する取り組みを進めていきたい。

1/26 カエルキャラバン（防災訓練）をパフィオで開催。どこかと連携できればと思う。宇和島市民大学を8月から立ち上げ、生涯学習センターの中で講座を開いていくので費用は5万円から10万円となっている。

◆地域支え合いセンター（佐藤）

①重層的支援体制整備事業について

最近の事例

吉田地区在住の高齢女性。元々関わりは無かった。被災自体は無かったがNPOセンター山口さんからの接続。「かむかいよしだ」で依頼があがった。ボランティアでお願いした方との繋がりもでき、家の中の衣類の整理をしていただいた。

以前から物取られ妄想があり警察へ連絡したり、カギをなくしたと市役所建築住宅課にも度々訴えがあった。

かむかいよしだ実施によって本人から話を聞くことができ、ヒトの中に入った方が良いということでサロンへ。知人もおりサロンにも参加することになったが世話人から連絡があり、直接本人から物とられの話に来られたとのことであった。NPOセンター山口さんとも共有。防犯カメラを付けようと本人との話に。

その後もNPOセンターに来られて物取られの訴えがあったのでカメラ画像を確認し、もう一台追加することとなった。包括支援センターにも事前につなぎ認知症の初期症状ということで対応。最終的に医療機関へつなげることも踏まえ、重層的支援情報共有会議でも共有した。

会議の結果、関わりの体制が取れているので、その中でそれぞれに対応し、何か情報があれば地域支え合いセンター経由で市包括支援センターに繋ぐこととなった。なかなか終わりは見えないが日頃からの皆さんの関わりが大事。

→（宇和島NPOセンター（谷本））

重層的支援体制整備事業について、説明をいただけるとありがたい。

→（地域支え合いセンター（佐藤））

本年度から宇和島市社会福祉協議会が市から受託した事業。

アウトリーチを通じた支援と共助の基盤作りの二つ。アウトリーチは個別支援。これまでの被災者支援の個別支援と同じような対応。訪問によって困りごとを拾い、関係機関、地域に繋ぐ。

共助の基盤づくりは地域で助け合うもの。個別と地域をつないで困りごとを解決していく。個別の困りごとは見つけるのは難しいが、地域の代表をしている方等に出向いて、なんでも良いので情報をという啓発をしている。被災者支援もその中に含めて支援を続けている。SOSを自分で出せないヒトを見つけていくのが大事。

→ (宇和島 NPO センター (谷本))

情報を社協や行政に繋いでサポートに結び付けていく支援と認識した。皆さんが得た情報をつないでいくことができるので共有をお願いしたい。

→ (えひめグローバルネットワーク (竹内))

重層的支援体制整備事業は、県との事業か市独自の事業か。

→ (地域支え合いセンター (佐藤))

市独自事業となる。宇和島市から受託している。委託元は宇和島市であるが重層的支援体制整備事業の実施地域は吉田地区。

→ (えひめグローバルネットワーク (竹内))

現在、三者連携を四者連携で進めていこうという動きがあり、今治でもそういった話をした。

→ (地域支え合いセンター (佐藤))

重層的支援体制整備事業の受託について、実施は宇和島市だが県社協も全般的に把握はしている。県全域で共有、支援を進めていくという体制。今後も東中南予で活動について共有しながらという流れになっている。

→ (宇和島 NPO センター (谷本))

先月、災害ケースマネジメント研修を開催した。宇和島市では、行政も被災を体験・経験していたことから、研修内容も参加者にスムーズに入っていた認識。

宇和島では災害支援の次の段階で重層的支援体制整備事業に取り組んだ。内閣府でもそういう方向になっているとも聞く。また改めて宇和島でも災害ケースマネジメント研修を開催するのでぜひ参加いただきたい。

→ (えひめグローバルネットワーク (竹内))

災害の経験が、防災、減災に役立てられていることが良く分かった。

◆宇和島 NPO センター (山口)

①新型コロナウイルス感染症予防対策について

コロナ対策の対応について作成したので共有する (現地では紙ベース、オンラインでは画面共有)。

②第1回 NPO 交流会 9/8 (木)

→ (宇和島 NPO センター (山本))

本年度、初めて開催した。本市で長く活動している団体も参加するなど、現在、市で NPO 登録している団体から参加いただいた (法人格の無い団体も登録)。

会では、もっと知りたいという情報についても意見をいただいた。広く助成金の申請方法や他団体の活動について知りたいという話があった。思った以上に参加をいただいたことと、NPO センターが交流会や研修会で繋いでいきたいということを肯定的に受け止めていただいたと思う。来月、キャンパの研修会を予定しており、リアル参加とオンラインの両方を使っていく。

自身はオンラインで NPO 交流会に参加したが、オンラインだと会議の声が聞き取りにくい会議もあるが、今回の会議では良く聞こえた。牛鬼会議を継続していることの積み重ねがこういう機会にも役立っている。

→ (宇和島 NPO センター (西岡))

会場参加 19 名。オンライン 13 名。合計 32 名 26 団体に参加いただいた。事前アンケートでは

資金面が気になる団体が多く助成金申請の案内ができる旨を説明した。

参加して良かったという感想や2回目を楽しみにしているという感想もあったほか、団体毎の資料をつくってコミュニケーションが取れると繋がりができるとの声もあった。助成金について資料をとという声もあった。

→ (宇和島 NPO センター (谷本))

今年から NPO センタースタッフとして西岡が参加しているので紹介する。NPO 交流会の開催については、災害支援のニーズも縮小し市内各団体のことをより知りたいということもあり開催。今回をきっかけに交流会、繋がりを深めていきたい。

次回は分科会にしたり、同じテーマを持っている団体同士の活動なども考えている。2月には商店街で NPO 団体の紹介ができるような形も検討している。市を良くできるような話ができればと思う。今回、社協からも参加いただき助成金申請の話をしていただいた。

→ (宇和島 NPO センター (山本))

活動していない団体もある中でこれだけ参加いただいた。行政からも同じ時期にアンケートを取る機会もあったのでタイミングとして良かった。社協、ホリバタ(生涯学習課西尾係長)も参加いただき多様な関係機関から信頼いただき NPO の連携支援に取り組んでいるという所も理解いただけたのではないかと。引き続きつながりを確かなものにして続けていきたいと思うのでよろしくお願いたします。

→ (宇和島市役所市民課 (東))

市民課より参加させていただいた。様々な NPO 団体の活動状況など、行政として情報を取りに行けていない部分もあった中、今回 NPO センターに交流会を開催してもらい良い機会となった。今回1回目の開催ということで団体の顔合わせができ、2回目、3回目と広がっていったら良い。

→ (一般社団法人宇和島 SDGs 社会教育事業団 (霜村一郎))

市内 NPO 団体の交流会はどのぐらいのペースで進めるか。

→ (宇和島 NPO センター (谷本))

今年度は、次回 NPO 祭(仮)を予定。年に2から3回を予定したい。

→ (一般社団法人宇和島 SDGs 社会教育事業団 (霜村一郎))

各 NPO 団体が集まる目的、メリットはどういう想定か。

→ (宇和島 NPO センター (谷本))

昨年、ほかの NPO 団体と会った際に他団体の活動内容を知らないという声があった。同じような活動をしている団体同士が繋がる、又は違う取り組みをしている団体同士が協働することで活動に繋がることもできる。

松山、西条でも同じような取り組みはしている。助成金であったり各団体の悩みを中間支援組織が拾い上げ、課題を提示、共有又は行政につないで解決することが各団体が育つステップにもつながる。

→ (一般社団法人宇和島 SDGs 社会教育事業団 (霜村一郎))

メリットとして、助成金の取り方。それを団体に伝えていくことがメリットになるか。他県でも NPO の集まりでも金銭の面で課題として出ている。自己資金を得ることが難しい。助成金をとることについては、毎月助成金の公募などが出ているが趣旨や目的にそってその団体が応募できるように指南してあげることがメリットになる。継続していくためには資金が必要。各団体もそこが知りたい情報だと思う。

→ (宇和島 NPO センター (谷本))

サポートをしていきたいと思う。来月、キャンパ(チラシ作成等)の講習会を開催する。PCのスキルアップ(データの共有方法等)も年内には開催する。

→ (宇和島市役所市民課(東))

NPO 団体へのアンケート等からも、資金面への課題が出ている。助成金を取り慣れている団体と、慣れていない団体がそれぞれあると思う。NPO センターと一緒に講座などを開いてもらうこともできるか。また、各団体に得意分野があるがその連携などについてはどうか。

→ (えひめグローバルネットワーク(竹内))

例えば、四国 EPO が主催する際に一緒に NPO センターにも一緒に参加してもらったりするのも良いのではないかと。たくさんの方に興味をもって一緒に関わっていただけると良い。中間支援組織同士の連携、ネットワークの一つとして重要だと思う。

→ (宇和島 NPO センター(谷本))

NPO 交流会でアドレスを共有いただいている。一斉に情報を共有することもできる。良い方法があれば共有をお願いしたい。

→ (一般社団法人宇和島 SDGs 社会教育事業団(霜村一郎))

補助金、助成金にしても毎月全国から出ている。行政と民間の補助金を幾つかとっているが、それぞれ少し質(事務作業量)が違う。行政の方がハードルが高い。制約制限がある。

行政が出す補助金については行政側でも講習会を開いていただく機会があれば良い。助成金の金額に応じた事務作業の負担がかかる。慣れて頂くためにも機会を。

→ (宇和島市役所市民課(東))

行政(市)が出す補助金について、NPO 団体補助金、子ども家庭課の子ども食堂に関するもの、生活環境課の海岸清掃に関するもの等がある。NPO 団体関連は市民課から登録団体への周知。子ども食堂に関するものは子ども食堂連絡協議会のネットワーク、海岸清掃に関する補助金は生活環境課から共有される。NPO 補助金は年度初めなどに手引きを送っている。分かりにくいところがあれば、市民課の自分のところへ問い合わせただけだとありがたい。直接市民課に関連するものでなくても、関係機関につなげられるので相談いただけたらと思う。

③砂防ダム見学会(立間地区 白井谷と奥白井谷)(山口)

日程の変更についてお知らせ(9/25(日))へ変更。

見学と説明会質疑等、避難の際の連絡網作り。

④体験型防災プログラム うわじま防災BOX×子ども食堂 in きさいや広場9/17(林)

台風が来ているので心配な点はあるが実施予定。チラシにある模型実演は中止。警報は出ないだろうということで救助工作車、救急車もくる。消火体験も実施。

体験については参加人数に余裕があるのでぜひ参加をしていただけるとありがたい。子ども食堂も1,000食配布予定。ボランティアバンクを通してボランティアも募集しており数名参加予定。また学生も参加。

当日、降雨予定のためテントを張る予定。オフィスセイケからも起震車体験をYouTube 配信する。コロナ対策で、来場者には記名、検温、リストバンドの着用をお願いする。

→ (宇和島 NPO センター(谷本))

来月、防災BOXの結果を共有する。

9月18日(日)イオンモール新居浜へきずな博PRイベントで南予物産品の販売等で大洲とも

一緒にワークショップを開催。みきゃん、にゃんよも登場。NPO センターは防災ワークショップでカードゲームと防災時に役立つリュックの作り方風呂敷活用法を実施予定。

◆その他

助成金について

(一般社団法人宇和島 SDGs 社会教育事業団 (霜村一郎))

先程の助成金事業について。市には広報にも載せてもらうほかアイデアは出ているが知らないという方が多い。環境、福祉、地域コミュニティでも登録NPO団体が多数あると思うが。

(宇和島市役所市民課 (東))

各課が出している補助金等は市の広報とホームページにて周知していると思う。探しにくいという点などは、わかりやすく伝わるように情報発信していきたい。

助成金について知りたいという団体の方や悩んでいる団体があれば是非霜村先生からも相談先(市、NPO センターなど)を教えてあげてほしい。牛鬼会議の場でも情報共有の仕方などみんな考えていけたらと思うのでよろしくお願ひしたい。

(えひめグローバルネットワーク (竹内))

JPF (ジャパンプラットフォーム) から西日本災害について報告した。JPFからも助成金ももらった。防災、災害支援を書いていない団体がどのようにネットワークを作ったかの話をした。大きなNGOは助成金を使いながら活動をしている。緊急支援、災害支援に特化した団体には助成金が集まりやすい認識。また、愛媛が出来なかったことを認識した。宇和島のNPOだからこそののではという活動への支援ができたらと思った。重層的な支援ネットワークを考えていく上で資金獲得ができる団体が、資金を獲得して支援につないでいく。そういったことが愛媛ではできなかった。今後の南海トラフ地震に向けては人材面でも資金面でも育てていく必要がある。意見交換をしながら進めていけたらと思う。

(宇和島 NPO センター (谷本))

今回、Yahoo!基金の助成金が採択された(Yahoo!復興調査助成)。四国内での支援ネットワークの構築を目指す。ぜひ色々な団体をつなぎ、四国内でのネットワークをつくって行く上での連携、協力をお願いしたい。

(えひめグローバルネットワーク (竹内))

香川県で活動している藤井節子さん(四国災害ボランティアネットワーク代表)と前回お会いした。顔の見える関係性づくりを進めていく。情報を広く共有しながらネットワークができたらと思う。よろしくお願ひしたい。

オープンスペースきゃっち (山本)

フォトコンテストを実施した。87点の作品を出展いただいた。10月11月12月に開催。吉田公民館から出発、10月2日から20日まで吉田公民館ロビーで開催。11月はスポーツ交流センターにて開催予定。

貝殻アート (霜村)

貝殻アートの展示会をきさいや広場で21日から開催している。ぜひ見にいってほしい。よろしくお願ひしたい。

(宇和島市役所危機管理課 (富永))

柑橘担い手育成、移住サポートの会議に出席していた。NPO センターとも連携している。NPO センター山口さんの働きかけでアルバイトの方へ原付を提供予定。台風などの支援なども牛鬼会議を通じてお願いしていきたい。

(えひめグローバルネットワーク (竹内))

四国圏域の旗揚げをしていただきたい。資金分配団体など、四国でのチャンスロス無くしたい。

(玉津地区農業支援コーディネーター (中島))

玉津地区農業支援コーディネーターをしている。

香川大学ボランティア日程決定。今週月曜に学校の許可を。宇和島にて飲食を伴うイベントが不可。うどんの接待は中止とした。 9/22-24 参加者~38名。砂防ダムの見学、愛媛県復旧事業の説明会、玉津地区農家15件へ有償ボランティアなど受け入れ。グランマのイベントへも参加。吉田地区小学校統廃合について、南海放送との連携を構想し、話を進めている。PTA連絡協議会、教育委員会、校長会へも周知。事業母体はどこになるか相談中。災害関連や海岸清掃のNPOなどにも協力を依頼したい。

先程、NPO 団体交流会の話をさせていただいたが、NPO 団体を地域住民があまり知らない。NPO センターとして地域に紹介していってもらえたら。

補助金について。

災害では、昨年度まで義援金があり自分もいただいていた。また、復旧復興に関しては今年度工期が間に合わなければ工事ができないという現場もある。補助金の申請は思った以上に手間もかかるし大変。情報がうまく伝わると良い。また、イベント開催時の参加告知、広報の使い方をもっと大勢の人に知ってもらいたい。

(特定非営利活動法人 U. grandma Japan (折原))

防災BOXに子ども食堂連絡協議会で参加。カレーバラ寿司、三食丼などを提供する。香川大学について、ありがとうマルシェに参加してもらう。9/30-10/2 きさいやにてフードドライブ予定で旧市内の学生ボランティアが参加予定。NPOセンターとも連携する。各地で食材を集めてもらえたら。

(宇和島 NPO センター (山口))

牛鬼会議議事録をホームページへ掲載予定。参加者に最終確認後、資料を共有する。変更があればお知らせいただきたい。

2. その他 (牛鬼会議参加者へのお知らせ、協力依頼など)

※別紙、そのほか (イベント等の開催状況) ボランティア等募集案内など

■次回、第73回牛鬼会議（未定）

日時： 令和4年 月 日（金）18時00分～

場所： 宇和島市総合福祉センター 3階

■本会議録作成者

特定非営利活動法人宇和島NPOセンター 林 昭子